

2022年4月にモントリオールから日本へ帰国した在留邦人の方から当館に、ご自身の帰国体験談が寄せられました。
ただしこれは一例で、状況によっては十分変わりうる可能性があることにご留意ください。

帰国レポート（4月6日モントリオール発、バンクーバー経由、7日成田着）

1 帰国のための準備

（1）PCR 検査

Atwater の Alexis Nihon にある LILIUM Diagnostics で検査を受ける。予約状況は空きが多く、簡単に予約が取れた。当日は、受付から採取終了まで10分かからないほどスムーズで、結果もちょうど日本の様式で作った証明書をPDFファイルにして、その日のうちにメールで送ってくれるので非常に便利。正式な領収書が必要な場合は受付で言えば検査結果と一緒に送ってくれる。

（2）ファストトラックの登録

ワクチンを3回接種済なので、日本到着後にスムーズに検疫を通過できるようにファストトラックを利用した。まずは、MySOS というアプリをインストールして必要な情報を登録する必要があるが、これはPCRの結果が出てから作業開始するほうが良い。

インストール後、アプリを立ち上げて入国前の事前登録のボタンが出てこず困ったが、厚生労働省のHPにあるファストトラックを説明するリーフレット上のQRコードを読み取ってアプリを立ち上げると出てきた。

MySOS は、12歳以下の同伴の子供の分も登録する必要がある。一番最初に同伴の子供がいるか聞かれるので、娘の情報を登録したら、妻も同じことをしており、ダブってしまった同伴者を消したかったが一度登録すると消去できないようだった。そのままだと自分が審査済でも画面が緑色にならなかったの、厚生労働省HPのトラブルシューティングQ&Aで調べたところ、やり直すにはアプリをアンインストールするしかないと判明。また、一度確認済になった後に、帰国日等に変更が生じた場合も変更できないので同じようにするしかないようだ。

2 モントリオールからバンクーバー

エアカナダのオンラインチェックインで陰性証明を登録しようするとどうしてもエラーになるので結局あきらめる。登録してあろうがなかろうが、空港でのチェックインの際、係員にワクチン接種証明と陰性証明を確認されるので両方ともプリントアウトを持って行くのが正解。チェックイン時、特に書類に不備があったわけではないが、係員が細かく書類を確認しており、20分くらい時間がかかった。周りを見回しても結構時間がかかっているようだった。

3 バンクーバーから日本

搭乗口のカウンターでワクチン接種証明と陰性証明を確認してもらう必要がある。かなり早めから確認をしてくれるので、早めに行って確認してもらうことをお勧めする。この時の書類確認で、連邦のワクチン証明書がない（州の証明書のみ）という理由でもめている日本人がいた。この人は結局搭乗できていたが、無駄な労力を省くためにもワクチン証

明書は連邦の様式のものをプリントアウトして持っていたほうが安心。20人くらいの乗客の書類確認が間に合わず、飛行機の離陸が遅れてしまった。

4 日本到着後

(1) 日本に入国しない国際線の乗り継ぎ客から下りるようにアナウンスされる。日本に入国する乗客は、通路を塞がないよう指示があるまで頭上のキャビネットから荷物も下ろさないようにアナウンスされるが、次のアナウンスは「それでは全員降りてください」だったので、国際線乗り継ぎの乗客が降りたらすぐ荷物を下ろして準備していないと出遅れることになる。ここでの出遅れは、この後の検査の順番に影響するので急いでいる場合は注意が必要。

(2) ファストトラック利用の場合、それ以外の旅客より優先的に先に検査まで進めるが、それでもワクチン接種証明と陰性証明の確認が何回もあり、プリントアウトを持っていたほうが何かと便利である。

(3) 今までどおりの唾液によるコロナ検査がある。検査前に30分前に何も飲食していないことを確認されるようになったので（飛行機内での事前説明なし）、飛行機を降りる待ち時間に何も食べないこと。唾液に食べかすなどが混入してサンプルの状態が悪いと再検査になり、もう一度唾液の採取をしないといけなくなる。

(4) 検査結果が出るまで、約2時間かかり、15:40に成田に到着して、出口を出たのが20時少し前だったので、すべての入国手続きを終えるのに約4時間かかった。このころには自分も子供も疲れ切っており、自宅のある名古屋まで帰る元気はなく、ホテルを予約しておいて正解だった。